

国際会議報告

Asia Simulation Conference 2014 (AsiaSim & JSST 2014) の報告

国際会議 Asia Simulation Conference 2014 が、2014年10月26～31日に北九州市の北九州国際会議場で開かれました。この国際会議は、1999年より続く、シミュレーションを包括的に扱うものとしてはアジアで最も歴史のある会議です。第1回の北京開催以来、概ね、中国、日本、韓国で順番に開かれてきました。2011年に、この日中韓にシンガポールとマレーシアの2か国を加えて「アジアシミュレーション学会連合 (ASIASIM)」が設立され、その後は ASIASIM が国際会議を主催することになりました。これに伴い、現在は5か国がローテーションを組んで順番に Asia Simulation Conference を開催しています。2013年にシンガポールで開かれた Asia Simulation Conference 2013 は、日中韓以外の国で開かれた初めての国際会議となりました。そして Asia Simulation Conference 2014 が日本に戻ってきたわけです。

今年の Asia Simulation Conference は、日本シミュレーション学会の年次大会 JSST 2014 との合同開催であり AsiaSim & JSST 2014 として開催されました。開催期間の前半には「AsiaSim セッション」と名付けたフルペーパーセッション、後半には「JSST セッション」と名付けたショートペーパーセッションが開かれましたが、あくまで全体でひとつの国際会議として開催されました。多数の論文投稿の中から30件のフルペーパーと63件のショートペーパーが採択され、フルペーパーの会議録は Springer 社の CCIS シリーズ (EI 付き) として出版されました。これは、日本シミュレーション学会の大会の会議録としては初めてのことです。

AsiaSim 2014 & JSST 2014 のプログラムは非常に特徴的でした。シミュレーションに関連する研究分野は極めて多岐にわたり、そのため、分野横断的な研究討論が重要です。そこで、全ての採択論文の発表をラインダムな順番に配置し、とくにフルペーパーはシングルセッションでの発表として、全ての会議参加者が一同に会して研究討論とアイデアのキャッチボールが出来るようにしました。大げさな言い方をすれば、「全ての講演をプレナリートーク」的に扱ったわけです。具体的には、モデリングとシミュレーション技術、

ネットワークとシミュレーション、高性能計算とクラウド・シミュレーション、数値シミュレーションと可視化、計測制御のシミュレーション、シミュレーションの教育利用、シミュレーション一般、という、非常に多岐にわたる分野での講演が混在するユニークなセッションとなりました。座長の皆様には多大なご苦勞をおかけしましたが、参加者からは「普段議論出来ない分野の研究者と活発な討論ができて、たいへん面白かった」という感想を多数いただいています。

AsiaSim 2014 & JSST 2014 のもう一つの特徴はイベント企画でした。毎日、何かしらのパーティーやエクスカージョンが行われました。皿倉山の頂上での夜景体験、関門トンネルツアー、バンケットでの餅つき体験などは、海外からの参加者にも大変好評でした。なお、これらのイベントを行うにあたっては、北九州市から多大な御協力をいただきました。博多駅前に掲げられた AsiaSim 2014 & JSST 2014 の垂れ幕も北九州市からのプレゼントでしたし、バンケットでは北橋健治市長にも御挨拶をいただきました。

このように、AsiaSim 2014 & JSST 2014 は、お陰様で成功裡に終了することが出来ました。日本シミュレーション学会の会員の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。関連して、ここでもう一つご報告したいのは、国際会議 Asia Simulation Conference を立ち上げた日本シミュレーション学会や各国のシミュレーション学会の先輩方に、ASIASIM からの感謝の気持ちを表すため、AsiaSim 2014 & JSST 2014 のバンケットにおいて、ASIASIM Honorary Fellow の称号が贈られたことです。日本シミュレーション学会関連では、高羽禎雄元会長、加川幸雄元会長に授与されました。

最後に、Asia Simulation Conference 2015 は11月4～7日に韓国のチェジュ島、Asia Simulation Conference 2016 はマレーシアで行われる予定です。引き続き、採択論文は Springer から出版される会議録 (EI 付き) に掲載されることになっています。多数の論文投稿と御参加をよろしく御願ひ致します。

日本シミュレーション学会理事・国際委員長
ASIASIM (アジアシミュレーション学会連合) 会長

田中 覚